

主要人物の呼び方

月見

一人称は「儂」

のじゃろりの典型 + 説教臭いが子供っぽく我儘な面も

陽司	緋桜	雪紐	待宵	桐島
陽司	観绪 or お嬢	雪紐殿	奴 or 待宵	東人

(*) 他、二人称に「主」「お主」など

(*) 待宵との面識はあるが月見の妖力では目視することができない(1995 年～)

陽司

一人称は「俺」

地に足をつけた独身男性のイメージ

月見	緋桜	雪紐	待宵	桐島
月見	観绪ちゃん	雪紐さん	----	桐島君

(*) 他、二人称に「君」「お客さん」など

(*) 待宵との面識は無い

緋桜

一人称は「私(わたし)」

某東風谷さんっぽい天然お嬢さんのイメージ

月見	陽司	雪紐	待宵	桐島
月見さん	陽司さん	雪紐さん	待宵さん	桐島さん

(*) 他、二人称に「あなた」など

(*) 2011 年夏以前「白葉さん」 2011 年夏以降「陽司さん」

(*) 待宵および桐島との面識は 2011 年 9 月に確立

(*) 祖父は「お爺ちゃん」

(*) 目付けの糸月は「糸月さん」

雪紐

一人称は「私(わたし)」

奔放、格は最も高いが威厳はあまり無い

月見	陽司	緋桜	待宵	桐島
月見	陽司	観绪	待宵	----

(*) 他、二人称に「アンタ」「そのの」など

(*) 桐島との面識はあるが名前を覚えるほど親しくはない

待宵

一人称は「私(わたし)」

丁寧、静かながらも威厳があるイメージ

月見	陽司	緋桜	雪紐	桐島
月見	----	観緒	雪紐	東人

(*) 他、二人称に「貴方」など

(*) 陽司の存在は知っているが本編中での関わりは現時点ではない

桐島

一人称は「僕(ぼく)」

素朴、文学青年のイメージ

月見	陽司	緋桜	雪紐	待宵
月見さん(月見)	白葉さん	緋桜さん(緋桜)	雪紐様	待宵様

(*) 他、二人称に「キミ」など

(*) 括弧内は思考する時の表現、面と向かって呼ぶときはさん付け

(*) 雪紐は待宵より格上という前提で様付けしている

(*) 月見・陽司との間柄は「食堂の常連」といった位置付け